

研究所だより

編集・発行

千葉県長生地方教育研究所
茂原市東郷2300-1TEL 0475(24)9721・FAX 0475(23)4820
H P <http://www.choseikaikan.or.jp/>
メール kenkyujo@beach.ocn.ne.jp

「千葉県教育の現状と課題について」 ～今年度の県の重点施策から～

千葉県教育庁東上総教育事務所
所 長 宮 内 教 夫

1 はじめに

この4月に企画管理部教育総務課委員会室長から、東上総教育事務所長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、所員には、教育事務所の役割は学校の教育力の向上に向けて、学校を支援することにあると日頃から話しています。学校の学びの環境整備には、関係機関の協力が不可欠です。本事務所は、「事務所は、学校の応援団！」というスローガンを掲げていますが、学校現場からも、確かにそうであると評価されるよう努めなくてはならないと考えています。

学校教育の成果は、児童・生徒の姿によって押し量られるべきものであると思います。所員一同、「すべては子どもたちのために」の思いを胸に持ちながら、これからの未来を生き抜く子どもたちの育成のため、力を尽くしてまいります。

2 今年度の県の重点施策について

新学習指導要領への移行期でもあり、大きな教育改革が進められていますが、県の重点施策のうち、特に重要な2点についてふれたいと思います。

(1) 教員等の働き方改革について

県教育委員会では、昨年11月に教員等の出退勤時刻実態調査を実施し、それによると、1週間あたりの在校時間が60時間を超える教職員が多く存在（小学校で約35%、中学校で約66%、高等学校で約36%、特別支援学校で約9%）していることが改めて明らかになりました。

そのような深刻な状況を受け、具体的には以下のような取組を行うとともに、「業務改善啓発リーフレット」を配付しました。

◇取組1

「教育職員の総労働時間の短縮に関する指針」の改定
主な内容

- ・出退勤時刻をICTの活用やタイムカードなどにより客観的に把握し、記録すること。
- ・部活動の運営については、職員の負担軽減や児童生徒の発達段階を踏まえ、見直しを図ること。
- ・長期休業期間中は、定時退勤に努めること。
- ・長期休業中において、学校運営上の支障や児童生徒の安全等に留意しつつ、学校閉庁日などの設定に努めること。

◇取組2

「部活動の見直し」

- ・スポーツ庁が公表した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、「運動部活動のためのガイドライン」を改訂すること。

その他にも、働き方改革推進本部の設置、取組1の「指針」の行動計画の策定、市町村立学校の教職員の実態調査、スクール・サポート・スタッフ及び部活動指導員を配置す

る2つのモデル事業実施等についても取り組んでいます。

(2) いじめ防止・不登校対策の推進

昨年11月に「千葉県いじめ防止基本方針」が改定されました。定義に基づくいじめの判断が、「けんかやふざけ合いであっても、児童生徒の感じる被害性に着目し、いじめに該当するか否かを判断する必要があること」とされたことや、情報モラル教育の推進、教職員がいじめに関わる情報を抱え込み、学校いじめ対策組織に報告を行わないことは、法律の規定に違反すること等の改定がされました。

不登校対策については、昨年度の総合教育会議での協議内容等を踏まえ、今年度、福祉・心理・教育の専門家からなる「不登校対策支援チーム」が設置されました。学校や市町村教委が対応に苦慮している、解消が困難な事例について助言、支援等を行い、不登校に対する対応の向上等をめざしています。

また、3月には、不登校支援に向けた内容を網羅的にまとめた教職員向けの「千葉県版不登校対策指導資料集」が各学校に配布されました。この資料を活用し、研修が行われるなど、不登校の未然防止・初期対応・自立支援に向けて役立てられることが期待されます。

3 学校訪問から感じること

5月中旬から学校訪問が始まりました。私にとって、管内の学校はすべて初めてで、新鮮な驚きばかりです。

そんな中で、改めて感じるのは、人材育成には時間が重要だということです。人を育てる仕事を全うするには、人を理解するための自分自身の人生経験や仕事上の豊富な経験がやはり不可欠のように感じます。

私も若い時がもちろんありました。自分自身で何が足りないかと思っても、その当時にはわからなかったことがありました。

そんなことを感じながら、私は学校訪問で人材育成について話すとき、ベテランの先生方に向けて次のように呼びかけています。

- ・結果はすぐに現れなくてもよい。
- ・若い方はあとからわかってきます。

若い方は、そもそも何が悪いのか、何を学んだらよいのか、それがわからないのです。大切なことは、先輩としてよい姿を見せること、言葉をかけること、あせる必要はありません。

若い方は、吸収力に優れています。きっと、みなさんが退職して何年もたった時に、その意味が、理由がわかると思います。ですから、ベテランの皆様は、遠慮をしないで、言ってもわからないだろうと思わず、勇気をもって、今どんどん声かけをしてあげてください、と。

4 おわりに

未来予測で、AIの発達により消滅する仕事に教師も入っていると。本当にそうでしょうか。私は、人を育てることは人しかできないと思っています。教育は、「教える」と「育てる」から成り立っているのですから。



「新学習指導要領の実施と授業改善」

千葉県総合教育センターカリキュラム開発部
部長 古市 利行

1 新学習指導要領と資質・能力

平成29年3月に、小学校と中学校の学習指導要領が公示されました。各学校では、実施に向けて準備を進めているものと思います。

今回の改定では、幼稚園教育要領と保育所保育指針及び認定こども園保育要領も同時に改定され、資質・能力が育まれている具体的な姿として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」が共通して示されました。小学校入学時に送付される指導要録の最終学年の記載は、この「10の姿」を活用して記入されることとなります。これにより、幼児期と小学校での姿をつなげ、学びを連続的なものとして捉えることが期待されています。

さらに、高等学校学習指導要領が平成30年3月に公示され、幼児教育から高等学校教育まで、育成を目指す資質・能力の三つの柱で貫かれました。従って、幼児教育から高等学校までを通じた見直しを持って資質・能力の育成を図ることとなります。

2 育成を目指す資質・能力

各学校において、教育活動の質を向上させるためのカリキュラム・マネジメントを推進することが求められています。

このために、各学校で育成を目指す資質・能力を教育課程の中で明確にすることが必要です。今までいろいろな方向を向いていた教職員のベクトルを1つの方向に向けていくこととなります。つまり、資質・能力を教科横断的な視点から育成するよう教育課程を編成し、学校の全教職員で取り組んでいくことが必要となります。「社会に開かれた教育課程」の実現のため、これを社会と共有していくこととなります。

例えば、各学校で育成を目指す資質・能力を学校教育目標等に明示します。これに基づいているような指導計画等に反映させていきます。さらに、各教科・領域の年間計画にこの資質・能力を育成する実際の授業を設定していくこととなります。この際、単元配列表などを活用することが考えられます。

3 「主体的・対話的で深い学び」について

新学習指導要領でのキーワードの1つです。「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む効果的な指導ができるようにすること。」と示されています。

ところで、「主体的・対話的で深い学び」とは何で、何をすればよいのでしょうか。

①これは授業改善の視点であって授業の目的ではない、ということに留意する必要があります。授業の目的は資質・能力の育成です。何のために授業を改善していくのか見失ってしまってはならないと考えます。つまり、「主体的・対話的で深い学び」の実現とは、特定の指導方法のことではなく、子どもたちに求められる資質・能力を育むために必要な学びの在り方を考え、工夫・改善を重ねていくことであるといえます。

②答申の補足資料などでは、「主体的な学び」、「対

話的な学び」、「深い学び」をそれぞれに解説しています。これは、理解しやすいように別々に説明してあるのであって、分けてはいけないと考えます。例えば、「活動あって学びなし」と言われるような授業ではない、ということです。あえて分けるならば、「主体的で深い学び」と「対話的で深い学び」であって、そこに必ず、各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせる深い学びがなければなりません。

③毎時間に必ず「話し合い活動」を入れるということではありません。1回1回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容のまとまりを見通しながら、学習を見直し振り返る場面や対話する場面などをどこに設定するかを考えていく必要があるのです。同時に、学習内容の確実な定着のために、例えば、繰り返し学習なども必要です。児童生徒が考える場面と教員が教える場面をどのように組み立てるか、指導者が明確な意図を持ちレイアウトすることが大切です。

4 全国学力・学習状況調査の結果分析と活用

全国学力・学習状況調査の目的の1つは、各学校で、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。では、この調査の結果をどのように活用しているのでしょうか。問題を先生方で読んだり、正答率が低い問題に関する授業時間を増やしたりすることから、もう一步踏み込んだ活用をして欲しいと思います。千葉県総合教育センターで提供している分析ツールは、すでに各学校で使っていると思います。

①誤答分析シートを活用しましょう。
課題が見られた項目や設問について分析することで、児童生徒の学習のつまずきを確認することができます。

②「分析結果報告書」を参考にしましょう。
毎年、千葉県総合教育センターで作成し各学校に配付しています。平成29年度の報告書には新たに「地域別の傾向」を記載してあります。調査結果の各地域ごとの特徴に応じた授業改善を考えて欲しいと思います。

また、各設問について、学習学年を記載するようになりました。この調査の分析結果を学校の全先生方で共有し、学校全体で授業改善に取り組む一助として欲しいと考えます。

5 「不易」と「流行」

冒頭で述べたように、新学習指導要領の実施に向けて、すでに各学校で取り組まれているものと思います。この対応の中で「主体的・対話的で深い学び」（いわゆるアクティブ・ラーニング）がクローズアップされていますが、育成を目指すのは、前に示された「生きる力」であり、これを具体化するために、資質・能力を三つの柱で再整理して示されたのです。これまでと同様に、個々の児童生徒の実態を把握し、常に授業改善を図っていくことが大切であると考えます。

長生郡・茂原市小・中学校「研究主題と研究仮説」

長生郡・茂原市小中学校の「研究主題と研究仮説」について紹介いたします。各学校の研究に役立てていただければと思います。

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東郷小	児童が自ら学び考え、表現する学習指導の在り方 ～国語科の学習を通して～	「深める」プロセスにおいて、児童の多様な思考を引き出すための場の設定や工夫をすれば、自分の考えと相手の考えを比較し、自らの考えを深めることができるだろう。	国語科
豊田小	主体的に学び、自分の思いや考えを伝え合い、学びを深めることができる児童の育成 ～「学び合う学習活動」を通して、深い学びを実感できる授業を目指して～	「学び合う学習活動」のよさを生かした言語活動を設定し、学習目標や振り返りの工夫を行えば、児童一人一人が主体的に課題に向き合い、自分の思いや考えを持ち、それらを伝え合い、学びを深め、自らの学びを実感することができるだろう。	国語科
二宮小	一人一人が輝き、「考え、学び認め合う」力を身につけた児童の育成 ～「特別の教科 道徳」を通して～	「特別の教科 道徳」において、以下の点を重視しながら題材を構成し、それぞれの考えを認め合う場を工夫すれば、進んで自分の考えを持ち、共に学び認め合う力を高めていくことができるであろう。 (1) 工夫したワークシートを活用した個人思考の場の設定 (2) 学習形態を工夫した集団解決の場の設定	道徳科
茂原小	進んで人とかかわり合う子どもの育成 ～外国語の活動を通して～	音声や基本的な表現に慣れ親しむ場面において、児童が興味・関心をもつことができる内容や活動を発達段階に応じて工夫すれば、進んで人とかかわり合う子どもが育つであろう。	外国語活動
茂原西小	主体的・対話的に学び、表現する力を高める児童の育成 ～国語科「読むこと」の指導を通して～	1 単元で付けたい力を明らかにし、ふさわしい言語活動を設定すれば、「学ぶ意欲」をもって学習に取り組み、「読むこと」の向上につながるであろう。 2 「読むこと」の学習過程において、自分の「読み」と他者の「読み」を比べて学び合う場を設定すれば、より「深い読み」につながり、自分の思いや考えを表現する力が育つであろう。	国語科
五郷小	どの子にも「わかる」「できる」楽しさを味わわせる学習指導 ～既習の見方・考え方を引き出す見直し→自力解決の工夫～	1 活動的段階、映像的段階、記号的段階を踏まえた授業構成をすれば、どの子にも「わかる」「できる」楽しさを味わわせることができるであろう。 2 児童の実態に応じた導入の仕方を工夫すれば、見直しをもって自力解決に臨む児童が育つであろう。(既習事項の振り返り、問題提示の仕方)	算数科
鶴枝小	わかる喜び、できる喜びを実感できる指導法の追究 ～国語科・算数科・体育科の学習指導を通して～	1 問題解決学習の過程において、既習の考え方を整理して提示すれば、それを手がかりにして学習の見直しを持つことができ、わかる喜び、できる喜びが味わえ、有能感を高めることができるであろう。 2 児童の実態や発達に応じた段階的な学習を構成して提示すれば、自分の課題を見つけたら、目標を設定して努力を重ねたりすることができ、達成感を得て意欲が高まり、わかる喜び、できる喜びが味わえるであろう。	国語科 算数科 体育科
萩原小	これからの時代に求められる資質・能力を教科等横断的に育成する授業づくり ～子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～	1 新学習指導要領の主旨を理解した上で、学校として育成を目指す資質・能力を明らかにする。 2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを通して、学校として目指す資質・能力を育成する。	全教科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
中の島小	自ら考え、主体的に問題解決に取り組む子どもの育成 ～算数科における指導法の工夫を通して～	習得したことを生かして思考できるような手立てを工夫すれば、学習意欲を引き出し、問題解決する力が身に付くであろう。	算数科
本納小	コミュニケーション能力を育む指導方法の工夫	問いや手立ての工夫をすれば、お互いの思いや考えを伝え認め合うことができ、コミュニケーション能力を育むことができるであろう。	全教科
新治小	自分の考えを持ち、進んで表現する力を育む算数指導 ～見通しの持たせ方と筋道立てて考え、伝え合うための数学的活動の工夫～	1 基礎・基本の定着を図り、既習事項を活用させる場を充実させれば、児童は見通しを持って学習を進めることができるであろう。 2 数学的活動を通して思考する場の工夫をすれば、児童は解決方法を筋道立てて考え、伝え合うことができるであろう。	算数科
豊岡小	外国語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 ～どの子も楽しく外国語活動に取り組むことができる授業づくり～	児童が、興味関心を持つことができる学習環境及び体験的な言語活動や教材を工夫すれば、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。	外国語活動
東部小	安全で安心な社会づくりの担い手となる児童の育成 ～地域との関わりをとおして～	1 安全に過ごすために、日常生活に潜む危険について、主体的に話し合えば、安全意識を高めることができるであろう。 2 地域資源を有効に活用すれば、安全に対する理解を深めることができるであろう。	学校安全
緑ヶ丘小	主体的に表現しようとする児童の育成 ～外国語活動・外国語科の学習を通して～	児童が興味・関心をもつことができる体験的な言語活動や教材を、発達の段階に応じて工夫すれば、主体的に表現しようとする児童が育つであろう。	外国語活動・外国語科
東浪見小	多様で効果的な道德教育の指導方法の取組 ～考え、議論する道德指導の工夫～	1 児童が、自分の考えを豊かな言語活動で表現することができる活動を取り入れれば、主体的に対話的な授業を行うことができるであろう。 2 個人評価において、児童が多面的・多角的に考えたり、道德的価値を自分との関わりで考えたりすれば、道德性に関わる成長の記録が明確になるであろう。	道德科
一宮小	主体的に行動できる児童の育成 ～いのちの大切さを考える防災教育を通して～	1 防災の視点で発達段階に応じた教育活動を展開し、地震や津波の危険・防災に関する知識・理解を深めることができれば、主体的に考え安全な行動ができる児童を育てることができるであろう。 2 避難訓練や防災活動の実践を家庭や地域と連携を図りながら防災意識を高めていければ、命を守るためにどう行動すればよいか、自分たちに何ができるかなどを判断し、行動する児童を育てることができるであろう。	安全に関する教科・領域
白潟小	自ら考え、表現できる子どもの育成 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた地域学習を通して～	自分の思いや考えを伝えたいくなるような手立てを工夫すれば、お互いの思いや考えを交流することができるであろう。	全教科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
南白亀小	「わかる・できる」を実感できる児童の育成 ～主体的な学びを促す授業づくりを通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 学ぶことに興味や関心を持つことができるような課題設定のしかたや、学習意欲を高めるための課題提示の工夫を意図的に取り入れていくことで、粘り強く考える力がつくと共に、解決する喜びを味わうことができるだろう。 2 学習活動を自ら振り返り意味づけたり、身についた資質・能力を自覚できるような評価の工夫を取り入れたりすることで、自ら課題を見つけ意欲的に学習する子が育つであろう。 3 習得したことを生かして思考できるような手立てを工夫することで、児童が自らより良い解決の仕方を見つけ、自分なりに表現することができるであろう。 	全教科
関小	一人一人が輝き、「わかる」「できる」喜びを味わえる授業づくり ～思考力・表現力を育む学習活動の工夫を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的・基本的な知識・技能の習得を図る手立てや個に応じた支援方法を工夫していけば、「わかる」「できる」喜びを一人一人に味わわせることができるだろう。 2 学び合う場や比較検討場面を工夫すれば、自分の考えを基に他者と関わり合いながら、思考力・表現力を育てていくことができるだろう。 	全教科
長柄小	「基礎的・基本的な知識・技能を身につけた児童の育成」 ～できる・わかる「楽しさ」、伝わる「喜び」を実感できる算数科の授業を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 児童が主体的に活動できる素材や教材・教具、導入や発問の仕方を工夫すれば、算数の楽しさが分かり、学習意欲が高まるであろう。 2 ペアやグループなど、学習形態を工夫し、教え合い・伝え合う活動を取り入れたり、掲示物や復習プリントを用いて繰り返し学習する場を意図的・計画的に取り入れていけば、学習内容が分かり、基礎的・基本的な知識・技能が身につくであろう。 	算数科
日吉小	心豊かでたくましく生きる児童の育成 ～多様で効果的な道徳の指導方法の在り方を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 多様で効果的な指導方法を工夫すれば、道徳性が養われ、子どもたちが社会を生き抜くために必要な思考力や判断力などの力を身に付けさせることができるだろう。 2 主体的・対話的に学習を進めていけば、児童一人一人が自己を見つめ、発達段階に応じて道徳的価値を自覚し、主体的な判断のもとに行動できる力を身に付けさせることができるだろう。 3 道徳科における評価の多様な方法を理解して評価していけば、教師は個々の児童の道徳性に係る心の成長に気づき、見取ることができるであろう。 	道徳科
長南小	思いやりの心や感謝の気持ちを育み、ふるさとを愛する児童の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 長南町の自然や人、文化財のすばらしさに気づかせればよいであろう。 2 地域の人々との交流を大切にすればよいであろう。 	福祉教育
睦沢小	主体的に学び、思考する「読むこと」の学習の在り方 ～言語による見方・考え方を働かせる授業づくりを通して～	学習の目的と目標を明確にして、児童が進んで思考する手立てを工夫すれば、自分の考えを形成する力を高めることができるであろう。	国語科
一松小	生きる力を支える確かな学力を身につけた児童の育成 ～算数科における基礎的・基本的な内容の習得と活用を通して～	基礎的・基本的学習内容の習得や活用を図る手立てや個に応じた支援方法を工夫していけば、確かな学力を身に付けることができるであろう。	算数科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
八 積 小	自分を大切に、他人を大切に する児童を育てる道徳教育 ～考え、議論する道徳の授業の 指導方法の工夫を通して～	児童一人一人が、自己をみつめ、多面的・多角的に考え、議 論する道徳の時間の指導方法の工夫をすれば、多様な価値観を 持つ互いを認め、尊重し合う心が育つだろう。	道 徳 科
高 根 小	自ら考え、表現する児童の育 成 ～国語科における言語活動を工 夫した授業づくりを通して～	1 単元で児童に付けたい力にふさわしい言語活動を工夫して 位置付ければ、目的が明確になり、思考力・表現力を高める ことができるであろう。 2 学習問題や学習計画を見通し、関わり合いの場の授業改善 をすれば、児童一人一人が自ら思考・表現しながら課題を解 決することができるであろう。	国 語 科
東 中	自ら学び、確かな学力を身に つけた生徒の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」 の視点に立った授業の改善～	基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれを活用する場面 を積極的に設け、学ぶ楽しさを実感できるわかる授業を実践す れば、学習に対する意欲が高まり、自ら学び、確かな学力を身 につけた生徒を育成することができるであろう。	全 教 科
富 士 見 中	確かな学びを育む授業のあり 方 ～指導方法の工夫改善を通して～	1 学習課題を明確にし、生徒が学習過程の中で教え合い、意 見を出し合う場面を工夫することで、お互いを高め合い主体 的に学ぶ態度が育つであろう。 2 学習のルールや家庭学習を定着させるための工夫をす ること、生徒の学ぶ意欲が高まり、主体的に学ぶ態度が育つで あろう。	全 教 科
茂 原 中	豊かな心と確かな学力を身に つけた生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	豊かな人間関係づくりを土台として「主体的・対話的で深い 学び」を推進し、「道徳教育」「キャリア教育」を実践し、指 導力の向上と学習習慣の確立の視点から学習の充実を図ること により、「豊かな心」が育まれ、「確かな学力」を身につけた 生徒を育成できるであろう。	全 教 科
南 中	自ら学ぶ生徒の育成 ～「主体的・対話的で深い学び」 の実現を目指す授業改善～	各教科の特性を生かしながら「主体的・対話的で深い学び」 の視点を持ち、授業改善を行うようにすれば、自ら学ぶ生徒の 育成につながるであろう。	全 教 科
本 納 中	未来に向けた学びの創造 共に考え、伝え合い、表現し 合う生徒の育成 ～シンク（考えをもつ）ペア・ グループ（考えを伝え合う） シェア（考えを深める）3つ の場の工夫～	1 安心して自分の考えや意見を発信できる学習集団づくりを 行えば、ペアやグループでの学習活動が活性化し、共に考え、 伝え合い、表現し合う生徒の育成ができるであろう。 2 学習の過程で、自分の考えをもち表現することや伝え合っ たり、話し合ったり、実験・調査をしたりする活動の場を意 識し、学んだ知識・技能を生かした授業づくりを行えば、生 徒は、自分の考えを深めることができるだろう。	全 教 科 全 領 域
早 野 中	主体的に学習に取り組み、豊 かな表現力を育成する指導の工 夫 ～学びを深める対話的な活動を 取り入れた学習指導を通して～	1 学習課題や学習の流れを明確にすれば、見通しを持って、 主体的に学習に取り組めるであろう。 2 対話的表現活動を取り入れた学び合う場を充実させれば、 思考を深め視野を広げ、深い学びを得ることができ、豊かな 表現力・創造力が高まるであろう。	全 教 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
西 陵 中	自ら学び、思考し、表現（判断）する生徒の育成 ～アクティブラーニングの視点での授業改善を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 学ぶことに興味関心を持たせ、見通しを持って粘り強く取り組み、自ら学習活動を振り返らせることで「主体的な学び」が実現できるであろう。 2 子ども同士の対話・協働、子どもと教員や地域の人との対話や考え方を手掛かりに考えさせることで、自らの考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるであろう。 3 各教科で習得した知識や考えを活用して、学習対象と深く関わらせることで問題を発見・解決したり、創造したりする「深い学び」が実現できるであろう。 	全 教 科
一 宮 中	豊かな心と健やかな体の育成の推進・充実を図るための教育活動の工夫 ～オリンピック・パラリンピック教育を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 すべての教科の中で、生徒が自分の考えを話したり、検討し合ったりする場面を設定することにより他者の考えを認め、より深い学びにつながるであろう。 2 オリンピック・パラリンピック教育を推進し、教育活動を工夫することにより、豊かな心と健やかな体の育成を推進し充実することができるであろう。 	全 教 科
白 子 中	自己実現に向け、自ら学び、思考し、表現できる生徒の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 ICT機器を活用するなど、学びの場の工夫・改善をすれば、生徒は進んで学び考えるようになるだろう。 2 言語活動や体験活動を学びの場に多く取り入れれば、表現する力が高まるだろう。 	全 教 科
長 柄 中	学ぶ喜びを感じ、主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～指導法の工夫・改善を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 話し合い活動や個人やグループで実験・調査に取り組み発表する場を充実させれば、生徒が考えを深め、問題解決能力や表現力が身につくであろう。 2 魅力ある題材を精選したり、教材・教具・資料の効果的な活用方法を工夫したりすれば、生徒は興味・関心を持ち、学習意欲が向上するであろう。 3 学習を進める中で、既習事項を意図的にふり返らせ関連を図ったり、くり返し練習したりすることで、基礎基本が定着し、主体的に学習に取り組むようになるであろう。 	全 教 科
睦 沢 中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 各教科の特性を生かしながら、指導力の向上・学習習慣の確立を図る実践をすれば、主体的に学び、互いに高め合う生徒を育成できるであろう。 2 学習課題を明確にし、学習過程の中で教え合ったり、意見を出し合ったりする場を工夫すれば、互いに高め合い主体的に学ぶ態度が育つであろう。 	全 教 科
長 生 中	「確かな学力」を身に付けた生徒の育成 ～実感を伴う「わかる授業」の確立を通して～	生徒の喜び（成就感・達成感）を伴った「わかる授業」を目指して、授業を改善・工夫していけば、学力や学習意欲が向上し、主体的な学習態度や家庭学習の習慣化につながり、「確かな学力」を身に付けた生徒が育成できるであろう。	全 教 科
長 南 中	主体的に学習に取り組み、互いに高め合う生徒の育成 ～学び合い活動を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習課題や学習の流れを明確にすれば、見通しをもって、主体的に学習に取り組めるであろう。 2 学習における学び合う場を工夫し充実させれば、多様な考え方に気づき、思考が広がったり深まったりするであろう。 	全 教 科

平成30年度長期研修生紹介



☆国語科☆
 茂原市立茂原小学校 木村 大樹
 〈研究主題〉
 合意形成を目指し、根拠をもって計画的に話し合うことのできる児童の育成
 ～「話し合い記録」と「台本型手引き」を活用した学習指導の研究～



☆特別支援教育(情緒障害)☆
 茂原市立東郷小学校 野村 隆之
 〈研究主題〉
 体の働きと情緒の安定との関係についての一考察
 ～児童が落ち着いて学習に取り組む姿を目指して～



☆現代的教育課題☆
 長生村立長生中学校 重柄 充暁
 〈研究主題〉
 資質・能力を高める効果的な校内研修の在り方
 ～全国の教員等育成指標の考察から～

平成29年度 長期研修生 研究発表会のご案内

昨年度の長期研修生の研修成果を地域で共有することを一つの目的として、研究発表会を行います。特に、教研集会での提案者となっている先生方は、レポートのまとめ方など、是非参考にしていただければと思います。多くの先生方の参加をお待ちしています。

○期日 8月8日(水)午後2時
 ○場所 長生教育会館2階大会議室

◇発表者◇
 ☆国語科☆ 茂原市立東郷小学校 松浦 俊介

〈研究主題〉
 主体的・対話的で深い学びの実現を目指す物語教材の学習～発問を通して読む力を高める学習指導の在り方について～
 〈研究の概要〉
 児童自身の読みを深め、物語の世界に浸っていくことのきっかけとなる発問の在り方に注目し、実践を行った。発問で課題を明確にすることで、児童は自ら進んで教材を読み進め、ときには友達と協働的に活動しながら、思考を深めていくことができた。授業実践を通して、物語の世界へ入り込めた様子、納得のいく読みができたこと、自分なりの読みをもって次時につなげている姿勢が、毎時の感想から伝わってきた。児童が発問によってそれまで気に留めなかった叙述の目に向け、豊かにイメージができた結果と言える。また、読書嫌いだっただ児童が、進んで学級の図書コーナーの本に手を伸ばすようになった。発問を手がかりにして読む力を育てるとは、読書への関心を高めることにも効果的である。

☆保健体育☆ 長生村立長生中学校 本吉 篤

〈研究主題〉
 中学校体育授業におけるベースボール型の系統的指導プログラムに巻く研究
 ～1年生と2年生の接続を視野に入れて～
 〈研究の概要〉
 運動経験による知識や判断、運動量の確保、多種のルールや不慣れな用具操作、男女共修の難しさなど、ベースボール型の授業を行う上での課題は多い。それらを克服するために、系統的な指導プログラムの開発を行い、知識や技能の向上を主な目標に検証を行った。ドリルについては、短時間で繰り返し学習できる用具の工夫、タスクゲームはメインゲームで起こりうる課題をチームで解決するための練習ができるようにした。メインゲームでは、1年生はアウトゾーンが1つの簡易的から残塁走者が発生する3段階のメインゲーム、2年生は走者の判断が必要になる2段階のメインゲームを系統性に配慮して配置した。その結果、定位置からの守備に関するGPA1の向上と判断に関する知識テストの得点の向上が見られた。形成的授業評価の向上から指導内容も適正であったと推測され、生徒同士の教え合いや、よいプレーに対する賞賛の声も上がった。次年度も継続してやってみたいという生徒が、事後のアンケート結果にて増加した。

研究所の紹介

所長 松村 暁雄 (茂原市立鶴枝小学校校長)



千葉県長生地方教育研究所は、昭和44年4月に設立され、今年で49年目となります。長生地方の教育課題を探求し、教育諸条件の改善充実のための資料を提供し、地域の教育振興に役立つ活動を運営の方針に掲げています。所員一同精一杯活動してまいりますので、ぜひご活用ください。

主事 佐藤 信之 (長南町立長南中学校)



長生地方教育研究所には、様々な教育書籍が保管されています。研究紀要や指導案、教育資料を閲覧したい、借りたい等、何か必要なことがありましたら、ご連絡ください。

調査部

〈研究主題〉
 小学校における外国語科の先行実施による成果と課題



本吉 由佳 (茂原市立早野中学校)
 岡田 弘道 (長生村立八積小学校)
 重村 英伸 (茂原市立緑ヶ丘小学校)
 根本 尚 (茂原市立茂原中学校)

移行期間となる平成30・31年に実態調査を行い平成32年度の全面実施に向け、よりよい実施方法、研修方法の在り方を紀要としてまとめます。

研修部

〈研究主題〉
 特色ある教育活動で、生きる力を育む教育の実現を目指して



君塚 恵理 (茂原市立本納小学校)
 中村 寿昭 (長南町立長南小学校)
 佐藤 剛 (一宮町立一宮小学校)
 西谷 真澄 (睦沢町立睦沢中学校)

「研究所だより」の発行や各種研修会の運営を行っています。

情報部

〈研究主題〉
 研究の深まりと校務の効率化を目指して



宇野 廣 (白子町立白湯小学校)
 村上 健輔 (茂原市立五郷小学校)
 山口 晃 (茂原市立南中学校)
 渡辺 大介 (長柄町立長柄小学校)

現場の教育研究、実践に役立つ教育資料の作成と紹介をします。また、各校の校内研究に関する資料を集め、研究所ホームページにデータベース化して掲載します。